

報告書 構成案

- 1 現状の把握
 - 1.1 登山者等の位置把握を目的とするシステムの種類と特長
 - 1.2 既存システムの課題
 - 1.3 動物検知通報システムの利用状況（生体把握、警報、狩猟）と課題
 - 1.4 登山者等の位置検知システム及び動物検知通報システムの需要の予測

- 2 150MHz 帯を使用する登山者等の位置検知システムに関する検討等
 - 2.1 登山者等の位置検知システムの要件の検討
 - 2.2 位置検知の範囲、精度
 - 2.3 必要な機能（捜索者からのリモート制御機能など）
 - 2.4 動作環境、動作時間、容積、重量、その他
 - 2.5 試験モデルシステム及び試験計画等の検討

- 3 モデルシステムを使用した技術的試験、検証
 - 3.1 登山者等の位置検知（範囲、精度）及び端末の制御機能等
 - 3.2 総合的な有用性の評価
 - 3.3 周波数共用方策の検討
 - 3.3.1 周波数軸上の有効利用（狭帯域化によるチャンネル増）
 - 3.3.2 時間軸上の有効利用（送信時間の短縮、双方向通信による制御）
 - 3.3.3 周波数共用に関する技術的条件の検討
 - 3.3.3.1 占有周波数帯域幅（所要伝送速度、変調方式）
 - 3.3.3.2 周波数セパレーション
 - 3.3.3.3 隣接 CH 漏えい電力及びキャリアセンスレベル
 - 3.3.3.4 連続送信時間
 - 3.3.3.5 キャリアセンスの周期等
 - 3.4 技術的試験、検証
 - 3.4.1 狭帯域システムにおける伝送速度
 - 3.4.2 通信品質及び隣接チャンネル等の干渉
 - 3.4.3 現行システムと狭帯域システムとの干渉
 - 3.4.4 公開実証試験

- 4 提言
 - 4.1 登山者等位置検知システムの技術的条件の提言
 - 4.1.1 システムの定義

- 4.1.2 無線設備の技術的条件
 - 4.1.2.1 一般条件
 - 4.1.2.2 送信装置
 - 4.1.2.3 受信装置
 - 4.1.2.4 制御装置
 - 4.1.2.5 空中線
 - 4.1.2.6 その他
- 4.1.3 周波数共用への提言
- 4.2 普及に向けた運営方法の提言
- 4.3 位置検知システムの応用範囲の提言
- 4.4 まとめ

5 資料集

- 5.1 開催趣旨
- 5.2 検討会設置要綱
- 5.3 作業部会
- 5.4 構成員名簿
- 5.5 開催経過
- 5.6 試験用無線機の基本性能
- 5.7 公開実証試験について
- 5.8 用語解説
- 5.9 関係法令・参考文献